

RPPC メールマガジン 第 769 号

リサイクルポート推進協議会（平成 31 年 4 月 3 日発行）

■先週・今週の報道発表

「土壌汚染対策法ガイドライン」の公表について

【環境省：平成 31 年 3 月 28 日】

平成 31 年 4 月 1 日に施行された土壌汚染対策法の一部を改正する法律

（平成 29 年法律第 33 号。以下「改正法」という。）を踏まえた「土壌汚染対策法ガイドライン」を作成・公表されましたので、お知らせします。

～詳細につきましては下記 URL をご確認ください～

<http://www.env.go.jp/press/106629.html>

■RPPC 事務局からのお知らせ

リサイクルポート推進協議会年次総会の日程と会場が決まりました。【再掲】

・日時：2019 年 6 月 4 日（火）

・会場：第一ホテル東京シーフォート 3 階ハーバーサーカス

<https://www.hankyu-hotel.com/hotel/dh/dhtseafort/access/>

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 中部地整が中空沖埋立でアセス準備書を公告縦覧
2. 山口県宇部港の長期構想示す。バルク輸送強化やにリサイクルポート推進
3. 苫小牧港の長期構想策定、次世代型ターミナル等

=====

◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 中部地整が中空沖埋立でアセス準備書を公告縦覧

中部地方整備局は3月25日付で、「中部国際空港沖公有水面埋立事業」に係る環境影響評価準備書を公告した。4月24日まで縦覧に伏すと共に、5月10日まで一般からの意見を受付ける。

対象事業は名古屋港の国際競争力の強化を今後とも進めていく必要から、現状で限界を迎えている浚渫土砂の新たな処分場として、中部国際空港沖に計画している。

埋立事業の面積は約290haで、受入土量は3800万立方m。埋立地の形状は、水産生物等への影響を最小に抑える観点から、中部国際空港の西側護岸を活かして沖合480mの前出しを行って確保する。南北方向は4270mになる。

埋立は中部国際空港の西側隣接部に4工区、並びに南東1工区の合計5工区に分けて整備する。西1工区から工事を開始し、各工区とも護岸が完成し次第、土砂を受け入れていく工程を予定している。

準備書公告・縦覧後の流れとしては、一般からの意見を踏まえて中部地整が見解書を作成して愛知県知事に送付。知事は120日以内に意見をまとめて中部地整に返答することになる。その後は同意見も踏まえて評価書を作成して縦覧しアセス手続きは完了する。

その後は公有水面埋立承認申請への作業へと進むことになり、順調に進めば2020年度の埋立承認～現地着工が視野に入ってくる。

.....

2. 山口県宇部港の長期構想示す。バルク輸送強化やリサイクルポート推進

山口県は宇部港の長期構想をまとめた。宇部港の現行港湾計画は平成20年代後半を目標としたものになっており、次期改訂計画策定の時期を迎えている。県では今回まとめた長期構想を踏まえて、次期港湾計画の素案作りを進め、地方港湾審議会開催などへのタイミングを計っていく。

宇部港の長期構想は、「物流」、「安心・安全」、「みなとまちづくり」、からなる3本の柱を立て、それぞれの目標に沿った基本戦略を打ちだしている。

「物流」では産業の国際競争力強化に資する物流拠点の形成として、国際バルク戦略港湾施策を推進する。船舶の大型化に対応した港湾機能を確保する。またコンテナ輸送網の拡充やRORR船など複合一貫輸送の強化を図る。更にリサイクルポート施策の推進を図り、新たな静脈物流ニーズに対応する。

「安心・安全」では、耐震強化岸壁や浚渫土砂等の処理空間を確保する。「みなとまちづくり」では、交流拠点・親水空間の形成を積極的に進めるほか、クルーズ船の寄港誘致も図る。

.....

3. 苫小牧港の長期構想策定、次世代型ターミナル等

苫小牧港管理組合は苫小牧港長期構想をまとめた。ハード整備ではROROターミナルの高規格化や鉄道と一体となった新たな内貿ユニットターミナルの整備、内貿ユニットバースの高規格化などを挙げている。今後は長期構想をもとに港湾計画改訂に取り組み、平成30年代前半の改訂を目指す。

長期構想に示しているのは概ね以下のとおり。

- ① 生産性向上に資する複合一貫輸送拠点」の施策として、次世代型ユニットロードターミナルの形成や既存ストックを活用した埠頭再編。
- ② 「北海道の食と観光のゲートウェイ」の施策として、フードコンプレックスの形成、水産物の輸出促進のための環境整備、国際クルーズ拠点の形成。
- ③ 「安全・安心な港湾機能を確保した海上物流拠点」の施策として、フェリーバースの大規模地震対策。
- ④ 「環境負荷軽減に資するエネルギー拠点」の施策として、SO_x規制に対する船舶への燃料補給機能の導入、水素エネルギーの供給・受入施設の配備など、苫東への立地を促進する東港区の機能強化。

また、「北極海航路の地域的ハブ港」の施策として、北極海航路のアジア側におけるゲート機能の形成も進める。

【港湾空港タイムス4月1日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。
開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。